

令和 7 年度 医療安全委員会 活動報告

■委員名	委員長：依藤泰子 副委員長：赤坂友美 委員：小谷一也・蓬莱理志・岡田美賀子・向井純子・山崎 綾・田内千恵子 田畑千代子・橋本弘子
■開催回数	6 回
■活動目標	1. 兵庫県内の看護の質向上と安全を推進し、医療安全に携わる人への支援を行う。 2. 支部間の連携を図り、医療安全等に関する情報共有と発信を行う。 3. 地域における医療安全教育を行う。
■活動内容	1. 兵庫県内の看護の質向上と安全を推進し、医療安全に携わる人への支援を行う。 1) 県内医療安全研修の研修計画・実施 (1) 日 時：令和 8 年 3 月 14 日 9:30～12:30 テーマ：ハラスメントとせん妄の見極めと対応 講 師：森脇法律事務所 弁護士 南本一志 氏 エーザイ株式会社 ディレクター 野口 毅 氏 西宮市立中央病院 認知症看護認定看護師 看護主任 村上美千代 氏 参加人数：97名 2. 支部間の連携を図り、医療安全等に関する情報共有の発信を行う。 1) 各支部研修会や委員会の情報交換を行う。 (1) 支部を超えての研修参加を推奨する。 (2) 年間研修計画やポスターを各支部へ配布した。 3. 地域における医療安全教育を行う。 1) 出前講座実施・予定 (6 件実施) 令和 7 年 10 月 30 日 谷向病院 令和 7 年 11 月 20 日 吉田病院 令和 7 年 12 月 4 日 関西青少年サナトリウム 令和 8 年 1 月 26 日 厚生病院 令和 8 年 2 月 2 日 老人保健施設ひらの 令和 8 年 2 月 17 日 医療福祉センターのぎく 2) ポスターの配布方法の検討 (1) 支部委員会を通して配布する。 (2) 研修会での啓蒙活動の実施
■活動の評価	・出前講座は 6 件の申し込みがあり、昨年度より 3 件増加した。 この要因として、ポスターの内容を見直し、配信時期を昨年度より早めたことに加え、支部委員会での啓発活動が功を奏したものと考えられる。 委員会では各支部からの報告を共有し、支部を超えた研修参加の推進や成功事例の共有が進んでいる。特に、研修参加者の増加に向けた取り組みやポスター作成は、各支部の定番的な活動として定着しつつある。

	一方で、「施設内でポスターが十分に掲示されておらず、研修の周知に至らなかった」との意見もあり、今後は施設内での効果的な情報伝達方法を検討する必要がある。 ・ 県内医療安全研修の研修計画については、現場で困っている内容でタイムリーなテーマだったため収容数100名の予定のところ早くから100名になってしまい、以後断る状況だった。同じ施設から4～5名の参加者等もあり、応募多数の場合の対応の検討も必要であった。
■今後の課題	・ 出前講座の活性化を図り、地域全体の安全に対する意識向上と質の向上を目指している。そのためには、安全管理者が配置されていない施設やクリニックへの広報活動が重要である。今後は、ホームページやSNS、委員会での周知、メール配信など、複数の媒体を活用し、継続的かつ繰り返し情報発信を行うことで、実施件数の増加を図る。 ・ 一部の支部では類似した研修を実施しているものの、参加者が少ない状況も見られた。そこで、支部を超えた交流と学びの場として、委員会主催による研修を検討する。